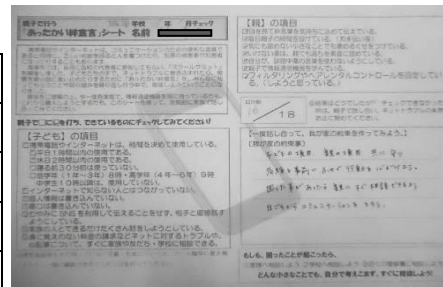


体験活動参加型＋講演会型＋在宅取組型（中学校）

学校名等	海津市立城南中学校
実施日時	平成30年1月16日(木) 13:30～15:30
会場	城南中学校 体育館
参加人数	2年生生徒及び保護者、地域の方 協力:岐阜経済マイスター倶楽部の方
学習課題(分野)	あったかい絆宣言「情報モラルワークショップ」(約束運動)
運営者の願い	情報通信機器は必要不可欠。現在、スマホは日常生活と密接にかかわっている。そこでSNS等を使用するにあたり良い点と問題点を考え、ネットトラブルに巻き込まれないようにするために何ができるかを、みんなで考える。



親子で行う「あったかい絆宣言」シート

学習の内容



<ワークショップ開催にあたり>

海津市で取り組んでいる「あったかい絆宣言」運動の推進に合わせ、家族、友達、地域の方と一緒に考える情報モラルワークショップを開催。

参加いただいた地域の方40名(青少年育成推進員・青少年育成指導員・南濃町主任児童員・地域のコミュニティ診断士・市P連役員)と岐阜経済大マイスター倶楽部の方5名にも協力をいただく。

<ワークショップの進め方>

【在宅取組】11月、あったかい絆宣言チェックシートの実施。SNSの良さ(ピンク)と問題点(青)を考え、付箋に記入する。

【ワークショップ】32グループに分かれる(親子と地域の方混合)。1グループ7～8名。

◇挨拶 青少年推進員、家庭教育学級長、学校長

車を運転するには免許が必要だが、ネットを使うには免許はいらない。しかし、同じように使用法やルールを学び、トラブルにならないように使い方を考え、工夫する必要がある。

◇進行・コーディネーター マイスター倶楽部の小川さん

- ①アイスブレイク グループの人に見えないように、同じ答えがないよう予想しメモに記入。
全員が書いたら見せ合う。赤い食べ物といえば？ 海津市といえば？ SNSといえば？
- ②KJ法によるワークショップ ～問題解決に向けて～
 1. 家庭で考えてきた良い点、問題点の付箋を模造紙に貼る。
 2. 付箋の意見をグループ内で交流し、分類して見出しをつける。
 3. 気を付けたいこと、まとめをする。
- ③小川さんに2～3グループを選出してもらい、発表をする。
- ④小川さんにまとめをしてもらう。



グループ交流の様子

<閉会>

◇あいさつ 青少年育成推進員副会長

「今日のたくさんの意見や考えをふまえ、もう一度仲間同士や各家庭で話し合ってもらいたい。」



発表の様子

【在宅取組】1月、あったかい絆宣言チェックシートの実施。

<感想・アンケートより>

子:大人と一緒に考えることができ、たくさん意見を出すことができた。最後の班ごとの発表は新しい考えを知れてよかった。

子:良さと問題点がよくわかった。自分のタブレットがフィルタリングされているか、もう一度親と確認し、家族のルールをしっかりと守りたい。

地域の方:単にスマホを持っているかいないかということだけで親の不安度の違いを感じ、懸念感を持った。もう少し交流時間が欲しかった。

親:携帯を持たせる上での権限も、使用するルールも親が持つということ。`みんなが持っているから`という考えをもう一度改めるべきだと感じた。

青少年推進員:楽しく取り組めた。中学生の思いを直接聞いて良かった。スマホを持っていない子も自分のこととして考え、上手に付き合っていこうとしている。子ども達から「NO! 拡散」とまとめを導き出したことに感心した。



<意見の広がり>

親子と仲間だけでなく、使いこなしている大学生や地域の方も交え、一緒に情報モラルについて考えた。世代を超えた幅のある意見交流ができた。



<次の在宅取組へ>

ワークショップ後にチェックシートを行い、家庭でのルールの確認と見直しをする。継続した取組。



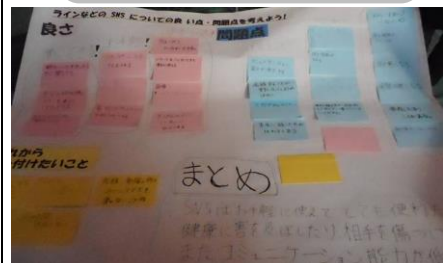
<工夫点・成果と課題>

コミュニティー診断士の資格を持つ地域の方のアイデアいただき、家庭・学校・地域で考えるワークショップとなった。

KJ法の活用とコーディネーターでわかりやすかった。

親は自分の子以外の考えを知ることができた。

地域の方は、親や中学生の生の声が聞け良かった。地域の課題に気づいた。



ワークショップシート